

宝塚市政記者クラブ各位

－第5回支援本部会議について－

- 1 開催日時 平成 23 年 3 月 22 日（火） 午前 10 時 30 分から
- 2 場 所 特別会議室
- 3 出席者 別紙参照
- 4 決定事項
 - (1) 職員の派遣について
 - ・ 県から、宮城県内被災 13 市町へ「兵庫県支援チーム避難所パトロール隊」としての職員派遣要請があり、本市からは 2 ヶ月間（1 週間 1 名単位で 8 週間、計 8 名）派遣する。
 - ・ 本市からの第 1 陣は 3 月 28 日（月）に県内他市町職員とともに出発予定。
 - (2) 災害窓口対応マニュアルの作成、及び被災地への送付について

阪神大震災当時の本市災害対策本部のマニュアル、当時の広報誌、および職員から当時の経験からの助言・アドバイスを求め、これらを「震災窓口マニュアル」としてとりまとめ、被災地へ郵送する。
 - (3) 市民からの支援物資の募集について

新品の衣類、電気製品に限定し、宝塚市社会福祉協議会ボランティア活動センターの協力を得て、3 月 22 日から支援物資を募集する。
- 5 確認及び報告事項
 - (1) 須賀川市へのお見舞いについて
 - ・ 3 月 19 日（土）に職員 2 名で須賀川市に入り、橋本須賀川市長に直接、宝塚市からの義援金 2000 万円他見舞金、応援メッセージを手渡した。
 - ・ 橋本市長から、須賀川市は特に原発放射能による人体への影響は無く、風評被害の払拭、並びに引き続き支援の協力を要請される。
 - (2) 被災した避難者の市営住宅への受け入れについて
 - ・ 現在、市営住宅の問い合わせが 9 件あり、内 2 件について鍵を提供している。
 - ・ 市民からの市営住宅入居被災者への支援物資を募集している。現在はリストを作成した上で、必要となった時点で必要品目の提供をお願いしていく。
 - (3) 各施設の避難所等としての利活用について
 - ・ 避難者が長期間住むことを考え、クラブハウスやフレミラなど、ある程度の広さがあり、風呂、シャワー、トイレなどが整った、利用できる施設を各部署で早急に調査する。
 - ・ 病院において、人工透析など難病患者が入院する場合、何部屋利用できるか調査する。
- 6 問合せ先

事務局 安全安心課
TEL 0797-77-2078（直通）

(別紙)

第5回支援会議出席者名簿

本部長	中川市長
副本部長	坂井副市長
	山下副市長
	伊達教育長
	南上下水道事業管理者
本部員	病院副事業管理者
	企画経営部長
	行政改革担当部長
	総務部長
	市民生活室長代理
	健康福祉部長
	子ども未来部長
	都市産業活力部長
	都市整備担当部長
	都市安全部長
	消防長
	議会事務局長
	管理部長
	学校教育部長
	社会教育部長
	経営統括部長
会計管理者	